



# 蒲生野

令和7年度 第6号  
令和8年1月7日発行  
京丹波町立蒲生野中学校

●新年 明けましておめでとうございます。本年が皆さんにとって素晴らしい一年になることを願います。●皆さんは令和8年をどんな年にしたいですか？僕は皆さんには、成長と感謝の一年にして欲しいと思っています。今年の年末には仲間と成長をたたえ合って、互いに感謝し合っている、そんな今年のゴールをイメージして歩みを始めてください。●差し当たって、三学期はまとめの学期、そして次のステップへの準備の学期でもあります。4月には、後輩を迎える先輩となる1年生。最上級生となり蒲生野中学校の顔となる2年生。蒲生野中学校を巣立ちそれぞれ新しいステージに立っている3年生。その準備の三学期です。●蒲生野中学校では、「将来社会に出て自分の足で幸せに生きていける力」が身に付けられるように、蒲生野中学校という小さな社会を自分たちの力で運営していくことで、将来社会に出ても社会の一員として活躍できる力を培っています。様々な単位で色々な取組を考えたり、運営したり、集団を動かしたりしています。●いつも言っている通り、みんなに任せられることは全部みんなに任せるので、みんなもそれに応えて、何事にも自分から積極的に関わり、工夫・協力を大切にして、より一層成長してください。●合い言葉は「みんなで最高の蒲生野中学校を創ろう！」。目指すのは「みんなが楽しい学校、みんなが安心できる学校」です。みんなでより良い学校を目指して頑張りましょう！  
●保護者の皆様 新年 明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。●本年が皆様にとって素晴らしい一年になりますように！

校長 人見 平安

## 読書コーナー

●僕が冬休みに読んだ本を紹介します。京丹波町図書館からは、「BUTTERバター（柚木麻子著）」「車のある風景（松任谷正隆著）」の二冊を借りました。●「BUTTERバター」は小説です。タイトルの「バター」はあの乳製品のバターです。食べ物の話もたくさん出てきて食べたくなります。社会の在り方や人の生き方にも話が及び、いろいろ考えさせられる本で大変面白かったです。●「車のある風景」はエッセイです。著者の松任谷正隆さんは、あの松任谷由実さん（知ってるかな？）とご夫婦です。由実さんにまつわる話もたくさん出てきます。こちらはまだ読み終わっていませんが、車好きの僕としては気軽に読めて興味深い本です。●蒲生野中学校図書館からは、「1984年（ジョージ・オーウェル著）」「スピノザの診察室（夏川草介著）」「ザリガニの鳴くところ（デイリヤ・オーエンズ著）」の三冊借りましたが、年末年始は意外と忙しく、まだほとんど読めていません。ぼちぼち読み進めていこうと思っています。●みんなは年末年始は何をして過ごしましたか？三学期も何かと忙しいかも知れませんが、朝読書や合間の気分転換にエッセイ（さくらももこ著の本は笑えます！）や短編小説（お薦めは「放課後の音符（山田詠美著）」や「第三の時効」（横山秀夫著）かな!?）など読みやすいところから攻めてみてはどうでしょう。「よく分からない！」と言う人は、読書指導員の安田先生に相談してみましょう！図書委員会の活躍も期待しています！！

~読書の冬~ 蒲生野中学校の図書室はもちろん、京丹波町図書館も利用しよう！